



高島幼稚園だより

令和 6 年 7 月号
板橋区立高島幼稚園
板橋区高島平 2-1 8-1
TEL 03-3934-5848
園長 井上 朋子

保幼小接続・小中一貫教育「高島なかよし通り学びのエリア」
(高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校)

高島幼稚園
ホームページ



50周年
キャラクター
「たんたん」



「雨」で遊ぶ

園長 井上 朋子

園庭の野菜が次々に実り、収穫して食することが増えてきました。子どもたちと野菜が育っていく過程を楽しみながら「もうすぐ食べられそうだね」と待ったり、実際に食することで、「あまい」「おいしい」「いいにおいがする」と感じたりすることは、幼児期にとっても大切な経験です。みんなと一緒に食べることで、苦手な野菜を少し食べられるようになっていくのも嬉しいことです。

「恵みの雨」と言いますが、野菜には嬉しい雨も、子どもたちにとっては外に行けず、残念な気持ちになります。もちろん、室内遊びが楽しめるように準備された中で、自分のやりたいことを見つけて遊ぶ姿がたくさん見られますが、見方を変えると、雨も遊びにつながっていくことが分かりました。



朝からずっと雨が降っていた日のこと。ヨーグルト等の空き容器（カップ）に雨を集めている姿がありました。園舎の軒下で、園舎の壁づたいに落ちてくる雨をカップに入れようとしています。なかなか雨つぶは入らないのですが、ずっと手を出して雨が入のを待っています。時々、カップに入ると、「入った！」「また入った」「コンって言った」と喜んでいました。

さらに、雨がカップにあたってはねた様子が見えたのか、「上にとんでいる」と言っている子がいました。大人には理解しにくい言葉かもしれませんが、それは子どもが感じた自分なりの言葉の表現です。

他にも、プラスチックのバケツや金物のボール、カップなどにあたる雨を見たり、音を楽しんだりする姿がありました。雨の音を楽しむ中で「あ、音が鳴った」「おもしろい！」と感じたことを言ったり、「雨の音楽会みたい」とイメージをふくらませて楽しんだり、音の違いに気付いて伝える様子。それは子どもたちの感性を生かし、楽しんでいる姿です。雨の音から様々な感じ方を素直に表したり、想像を楽しんだりできること。それはとても素敵なことです。



同じように雨が当たっている様子を見ている姿を見ても表し方は様々で、雨がボールにあたる様子を見て、自分もジャンプ。自分が雨つぶになって、はねています。雨を見ながら体で表現している姿です。雨を見ているうちに、自分が雨つぶに変身したのでしょうか。とても豊かな表現力です。

子どもたちが雨を見て感じ、表現する姿は、とても素直な子どもたちの心の表れです。雨が降っているからこそできることを先生方が考え、様々に環境を用意したことで、子どもたちの雨との新たな出会いにつながっていきました。子どもたちは、身近な自然から様々なことを学びます。そこでの出会いは、子どもたちの心を豊かにしてくれるものだと思信した一時でした。

